



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
 コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 野口 祥吾
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6825-1250

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,077	20.9	194	136.5	196	137.5	125	125.0
26年12月期第1四半期	890	3.7	82	△8.2	82	△15.3	55	△17.7

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 125百万円 (138.2%) 26年12月期第1四半期 52百万円 (△26.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	12.95	12.94
26年12月期第1四半期	5.76	5.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	2,708	2,184	80.7	226.17
26年12月期	2,634	2,107	80.0	218.22

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 2,184百万円 26年12月期 2,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	5.50	5.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,900	6.8	200	42.6	200	41.5	130	36.1	13.46
通期	4,100	10.6	480	26.3	480	22.3	310	16.6	32.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	10,242,000 株	26年12月期	10,242,000 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	582,237 株	26年12月期	582,237 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	9,659,763 株	26年12月期1Q	9,655,763 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策による企業収益の増加と株式市場の好調、雇用や所得環境の改善など、緩やかながらも国内景気の回復基調が昨年を引き続き持続しております。一方で、新興国経済の成長懸念や先進国における金融政策の動向など、日本経済の先行きに対する不安定要素もあり、楽観視出来ない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、金融市場が引き続き好調を維持していることを受けて、投資信託関連や証券会社向けサービスが順調に業績を伸ばすとともに、金融関連以外の分野においても事業会社向け受託開発が好調に推移してきております。また、平成27年2月の事業譲受により「W2 Pクラウド」「楽だねonline」等の新たな事業を追加し、サービスラインナップの充実を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,077百万円（前年同期比186百万円増、20.9%増）、営業利益は194百万円（前年同期比112百万円増、136.5%増）となりました。また、経常利益は196百万円（前年同期比113百万円増、137.5%増）、四半期純利益は125百万円（前年同期比69百万円増、125.0%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

証券会社向けシステムソリューションが、大手証券会社向けサービスを中心に業績を大きく伸ばすとともに、『IFIS Research Manager』（アイフィス・リサーチ・マネージャー）や『IFIS Consensus Manager』（アイフィス・コンセンサス・マネージャー）、資本市場関係者向けリアルタイムニュースなどの主力商品が着実に業績を伸ばしてきております。

その結果、売上高は186百万円（前年同期比41百万円増、28.2%増）、営業利益は103百万円（前年同期比36百万円増、53.7%増）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

株式市場の活況に伴い、証券調査レポートやIR関連印刷物の受注量が増加傾向に転じ、関連する配送関連事業も増収に転じるなど明るい兆しが見えてきております。また、今年2月よりW2 Pクラウドサービス等の新たなサービスを追加し、事業内容の拡充を図ってまいりました。

その結果、売上高は239百万円（前年同期比20百万円増、9.4%増）、営業利益は29百万円（前年同期比9百万円増、45.8%増）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場は、株式市場の好調と円安基調が継続していることを受けて、投資信託ファンド数及び純資産総額ともに増加傾向が続いております。これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量は昨年に引き続き好調を維持しており、業績を着実に伸ばしております。また、確定拠出年金関連の印刷やソリューションサービス、運用報告書などの新たな商材も好調を維持しております。

その結果、売上高は420百万円（前年同期比67百万円増、19.1%増）、営業利益は110百万円（前年同期比23百万円増、26.7%増）となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である証券・金融業向けシステムソリューションサービスが堅調に推移するとともに、事業会社向けの受託開発が業績を大きく伸ばしております。

その結果、売上高は226百万円（前年同期比55百万円増、32.9%増）、営業利益は48百万円（前年同期比40百万円増、496.5%増）となりました。

<その他事業>

「データ化サービス」や「ECワンストップサービス」などの提供を開始し、より利便性の高いサービス内容の追求に従事しております。

その結果、売上高は3百万円（前年同期比0百万円増、33.9%増）、営業損失は12百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、前連結会計年度末に比べ74百万円増加し2,708百万円となりました。

流動資産は20百万円減少し、2,201百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が85百万円減少する一方で、受取手形及び売掛金が66百万円増加したことによるものであります。

固定資産は94百万円増加し、507百万円となりました。主な要因は、事業譲受などに伴いのれんが63百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し524百万円となりました。

流動負債は2百万円減少し、507百万円となりました。主な要因は、賞与引当金が26百万円増加する一方で、消費税の納付等によりその他が36百万円減少したことによるものであります。

固定負債は0百万円増加し、16百万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債が0百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末に比べ76百万円増加し、2,184百万円となりました。主な要因は、四半期純利益125百万円の計上と、剰余金の配当48百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月30日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,729,304	1,643,887
受取手形及び売掛金	412,032	478,406
仕掛品	21,309	8,276
その他	60,331	72,093
貸倒引当金	△793	△1,023
流動資産合計	2,222,184	2,201,640
固定資産		
有形固定資産	42,273	41,695
無形固定資産		
のれん	2,483	65,596
ソフトウェア	106,105	118,032
ソフトウェア仮勘定	2,450	320
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	112,508	185,418
投資その他の資産	257,685	280,160
固定資産合計	412,468	507,274
資産合計	2,634,652	2,708,915
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,777	177,499
未払法人税等	76,455	74,170
賞与引当金	12,991	39,606
その他	253,192	216,423
流動負債合計	510,417	507,698
固定負債		
退職給付に係る負債	14,011	14,123
その他	2,223	2,309
固定負債合計	16,235	16,432
負債合計	526,652	524,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	1,347,482	1,424,286
自己株式	△77,928	△77,928
株主資本合計	2,090,373	2,167,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	△138
為替換算調整勘定	17,618	17,744
その他の包括利益累計額合計	17,626	17,606
純資産合計	2,107,999	2,184,784
負債純資産合計	2,634,652	2,708,915

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年3月31日）
売上高	890,975	1,077,087
売上原価	575,078	645,919
売上総利益	315,897	431,168
販売費及び一般管理費	233,822	237,025
営業利益	82,074	194,142
営業外収益		
受取利息	886	986
受取配当金	189	112
持分法による投資利益	692	750
為替差益	—	309
その他	95	121
営業外収益合計	1,862	2,280
営業外費用		
為替差損	1,242	—
その他	4	7
営業外費用合計	1,246	7
経常利益	82,690	196,415
特別損失		
固定資産除却損	—	186
特別損失合計	—	186
税金等調整前四半期純利益	82,690	196,229
法人税、住民税及び事業税	27,393	73,004
法人税等調整額	782	△1,878
法人税等合計	28,176	71,126
少数株主損益調整前四半期純利益	54,514	125,102
少数株主損失（△）	△1,094	—
四半期純利益	55,608	125,102

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	54,514	125,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△145
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,999	125
その他の包括利益合計	△1,996	△19
四半期包括利益	52,517	125,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,611	125,083
少数株主に係る四半期包括利益	△1,094	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報事 業	ドキュメン トソリュー ション事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュー ーション事 業				
売上高								
外部顧客への売上高	145,526	218,871	353,347	170,383	2,847	890,975	—	890,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,787	—	5,510	—	11,297	△11,297	—
計	145,526	224,658	353,347	175,893	2,847	902,272	△11,297	890,975
セグメント利益又は 損失（△）	67,145	20,000	87,437	8,189	△6,640	176,133	△94,058	82,074

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△94,058千円には、セグメント間取引消去△660千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△93,397千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データベース等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報事 業	ドキュメン トソリューション事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション事 業				
売上高								
外部顧客への売上高	186,600	239,490	420,808	226,373	3,813	1,077,087	—	1,077,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,935	—	5,632	—	13,568	△13,568	—
計	186,600	247,426	420,808	232,006	3,813	1,090,655	△13,568	1,077,087
セグメント利益又は 損失(△)	103,178	29,170	110,748	48,849	△12,815	279,130	△84,987	194,142

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△84,987千円には、セグメント間取引消去△1,059千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△83,928千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「ドキュメントソリューション事業」セグメントにおいて、事業譲受による、のれんを計上しております。
なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては64,331千円であります。